



気軽にアンケート 気づけば借金

アンケートに答えただけで、多額の借金を背負ってしまった。
そんな被害が大学生に相次いでいる。

「大学構内だったこともあり、安心してしまった。まさか自分が被害に遭うなんて」福岡県内の男子学生はこう振り返る。模試が終わり大学構内で一人していると、男から「お時間ありますか」と声をかけられ、アンケートに答えれば2000円の報酬がもらえると誘われた。学生は気軽な気持ちで応じた。

「アルバイトを選ぶ時、就職に役立つ職種を選びますか」男からバイト探しがテーマの質問を受け渡されたノートに自ら記入していく。

全部で50問。質問の途中で、本人確認に必要と運転免許証の写真を撮られ、この日の報酬以外に後日1000円を振り込むという理由で銀行口座番号を聞かれ教えてしまった。

5日後、大学のHP上に同様の被害に注意するよう呼びかける書き込みを見つけ、はっとした。アンケート途中で学生のスマートフォンを借りて男がどこかに電話しており、その番号に折り返したところ消費者金融だったことが分かった。そのまま借金の有無を確認すると、30万円の借金が判明。

国民生活センターによると、同様のトラブルは昨年末から福岡県、佐賀県で少なくとも20件以上確認されている。口座番号や運転免許証などの個人情報さえあれば借り入れができる消費者金融のスマホアプリを悪用する手口で、被害者20歳以上の大学生に集中していた。

消費者金融アプリで大学生になりすまして個人情報を入力するなどすれば、コンビニエンスストアの現金自動受払機(ATM)から借り入れができる。50万円以下の借り入れであれば収入証明もいらず、被害に遭った大学生も50万円以下の借り入れが多い。

30万円の被害に遭った学生にアンケートした男は、別の学生の個人情報を使って消費者金融から現金を引き出したとして佐賀県警に逮捕された。だが、30万円のローンは今も残ったままで「個人情報だけでお金を借りられてしまうというのは怖い。今後お金を請求されたり、ブラックリストに載るなどして就職活動など将来に影響が出たりしないか不安」と口にした。

スマホアプリ悪用福岡で弁護団

個人情報や口座番号などを入手し、本人になりすまして消費者金融から現金を引き出す手口は、スマートフォンのアプリが持つ利便性を逆にとった今どきの犯行で、全国どこでも同様の被害は起こりうる。

これまでの被害者の中には、借り入れに気づかぬままローン返済のために口座から現金が引き落とされた大学生もいる。引き落としを防ごうと口座残高をゼロにしても、借り入れを放置したままであれば後にブラックリストに載り将来ローンが組めなくなったりする恐れもある。

被害が相次ぐ福岡県では被害救済のための弁護団が結成された。被害の遭った大学生から依頼があれば、消費者金融と契約破棄交渉、返還請求の代行に乗り出している。弁護団長は「個人情報はむやみに第三者に渡さないでほしい」と注意喚起している。

新型コロナウイルス 家庭の予防策

東北医科薬科大は、新型コロナウイルスの感染予防として、家庭でできる具体策をまとめたハンドブックを公表。手洗いやマスク着用などの基本的な対策に加え、家族がよく触れる場所の消毒や換気が重要。

ハンドブックによると、家族に発熱やせきなどの感染が疑われる症状が出た場合、換気が疑われる症状が出た場合、換気ができる部屋で分かれて過ごしてもらい、1~2時間に一度は5~10分、窓を開けるのがよい。

家族がよく触れるテレビなどのリモコン、ドアノブ、照明スイッチ、流水レバーなどにウイルスがついて感染が広がる恐れもあるため、アルコールや漂白剤で消毒することも効果があるとした。

食事の際には、大皿に盛らないようにするほか、食器の共用を避け、使用後の食器は消毒液に5分以上浸すよう呼び掛けた。

国内では感染者から家族にうつる例が報告されているため、感染が疑われる人を看病する際のポイントも紹介。看病する人は一人に限定してマスクと手袋をつけ、1日2回の体温測定をして感染症状が出てこないか気をつけるよう求めた。

下痢や嘔吐などの体液で汚れた衣類や布団は、80度以上の熱湯を入れたバケツに10分以上の熱湯を入れたバケツに10分以上浸してから選択するほか、手洗い後に使用するタオルを共有しないよう呼び掛けている。

マスクの着用を含む咳エチケット

感染経路は、感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手で目・口・鼻を触ること等による接触感染があります。新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」と「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

- 流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目等に触る前には手洗いを徹底しましょう。
- 咳・くしゃみが出る場合は、次のような「咳エチケット」を心がけましょう。
 - ・ マスクを着用します ・ ティッシュなどで鼻と口を覆います
 - ・ とっさの時は、袖、肘の内側などを使って口や鼻を覆いましょう
 - ・ 周囲の人からなるべく離れます



アグー豚熱逃れ離島へ

沖縄県は豚熱（CSF）感染を防ぐため、沖縄の希少な固有種「アグー」の離島への隔離を始めた。

フェリーで4頭を久米島に移送。将来繁殖に使う計約30頭の隔離を計画している。

県によると、沖縄本島の豚約24万頭に対するワクチン接種を始めたが、隔離するアグーには接種しない。2018年12月時点で、県内にはアグーの純粋種が1100頭以上飼育されている。

当初は50頭の隔離を目指したが、養豚農家への影響を考慮し、約30頭にとどめた。